



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和7年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区機能診断調査他業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
南部九州土地改良調査管理事務所













事業名		国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業			
業務名		出水平野地区機能診断調査他業務			
業務別業務名: 設計業務					
名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				8,422,000	
・直接人件費	1.000	式		8,422,000	
・・直接人件費	1.000	式		8,422,000	
・・・設計作業費 機能診断調査 小原揚水機場	1.000	式	1,468,000	1,468,000	1式当たり
S65502 機能診断 点的構造物 1箇所, 機場	1.000	式	283,940	283,940	歩A・単A S単 26号
S63003 健全度評価の見直し	1.000	式	53,067	53,067	歩A・単A S単 1号
S63003 性能低下予測の見直し	1.000	式	52,766	52,766	歩A・単A S単 2号
S63003 機能保全対策の見直し	1.000	式	333,363	333,363	歩A・単A S単 3号
S63003 機能保全コストの見直し	1.000	式	546,200	546,200	歩A・単A S単 4号
S63003 機能保全計画の見直し	1.000	式	145,275	145,275	歩A・単A S単 5号
S63003 点検取りまとめ	1.000	式	53,096	53,096	歩A・単A S単 6号
合 計				1,467,707	
・・・設計作業費 耐震性能照査 平良川水管橋 1～3号水管橋	1.000	式	2,321,000	2,321,000	1式当たり
S63003 1.資料の検討	1.000	式	207,760	207,760	歩A・単A S単 7号
S63003 2.落橋防止対策の検討	1.000	式	403,000	403,000	歩A・単A S単 8号
S63003 3.耐震診断(レベル1地震動照査)	1.000	式	1,364,700	1,364,700	歩A・単A S単 9号
S63003 4.照査	1.000	式	66,900	66,900	歩A・単A S単 10号
S63003 5.点検取りまとめ	1.000	式	278,720	278,720	歩A・単A S単 11号
合 計				2,321,080	
・・・設計作業費 耐震性能照査 小原揚水機場	1.000	式	3,919,000	3,919,000	1式当たり
S63003 1.資料の検討	1.000	式	374,250	374,250	歩A・単A S単 12号
S63003 2-1.耐震検討条件の整理	1.000	式	428,300	428,300	歩A・単A S単 13号
S63003 2-2.耐震性能照査	1.000	式	2,393,500	2,393,500	歩A・単A S単 14号
S63003 3.照査	1.000	式	133,800	133,800	歩A・単A S単 15号
S63003 4.点検取りまとめ	1.000	式	588,700	588,700	歩A・単A S単 16号
合 計				3,918,550	
・・・打合せ(設計)	1.000	式	606,000	606,000	1式当たり
S63010 初回 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.55日	1.000	回	132,825	132,825	歩A・単A S単 18号
S63010 中間 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.55日	3.000	回	113,505	340,515	歩A・単A S単 19号
S63010 最終 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.55日	1.000	回	132,825	132,825	歩A・単A S単 20号
合 計				606,165	
・・・設計作業費 移動基準日額(現地調査)	1.000	式	108,000	108,000	1式当たり
S63007 基準日額(現地調査)	1.000	式	107,650	107,650	歩A・単A S単 17号
合 計				107,650	



事業名		国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名		出水平野地区機能診断調査他業務				
業務別業務名: 設計業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	*** S単 - 1号 *** 健全度評価の見直し 設計労務(直接人件費内業)		式	53,067		歩A・単A
S63003	*** S単 - 2号 *** 性能低下予測の見直し 設計労務(直接人件費内業)		式	52,766		歩A・単A
S63003	*** S単 - 3号 *** 機能保全対策の見直し 設計労務(直接人件費内業)		式	333,363		歩A・単A
S63003	*** S単 - 4号 *** 機能保全コストの見直し 設計労務(直接人件費内業)		式	546,200		歩A・単A
S63003	*** S単 - 5号 *** 機能保全計画の見直し 設計労務(直接人件費内業)		式	145,275		歩A・単A
S63003	*** S単 - 6号 *** 点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	53,096		歩A・単A
S63003	*** S単 - 7号 *** 1.資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	207,760		歩A・単A
S63003	*** S単 - 8号 *** 2.落橋防止対策の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	403,000		歩A・単A
S63003	*** S単 - 9号 *** 3.耐震診断(レベル1地震動照査) 設計労務(直接人件費内業)		式	1,364,700		歩A・単A
S63003	*** S単 - 10号 *** 4.照査 設計労務(直接人件費内業)		式	66,900		歩A・単A
S63003	*** S単 - 11号 *** 5.点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	278,720		歩A・単A
S63003	*** S単 - 12号 *** 1.資料の検討 設計労務(直接人件費内業)		式	374,250		歩A・単A
S63003	*** S単 - 13号 *** 2-1.耐震検討条件の整理 設計労務(直接人件費内業)		式	428,300		歩A・単A
S63003	*** S単 - 14号 *** 2-2.耐震性能照査 設計労務(直接人件費内業)		式	2,393,500		歩A・単A
S63003	*** S単 - 15号 *** 3.照査 設計労務(直接人件費内業)		式	133,800		歩A・単A
S63003	*** S単 - 16号 *** 4.点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式	588,700		歩A・単A
S63007	*** S単 - 17号 *** 基準日額(現地調査) 設計労務(直接人件費外業)		式	107,650		歩A・単A
S63010	*** S単 - 18号 *** 初回 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.55日		回	132,825		歩A・単A
S63010	*** S単 - 19号 *** 中間 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.55日		回	113,505		歩A・単A
S63010	*** S単 - 20号 *** 最終 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.55日		回	132,825		歩A・単A
S63011	*** S単 - 21号 *** 初回 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間		回	10,410		歩A・単A



事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S63003	健全度評価の見直し 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.26人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.33人				
	5)技師Bの人数	0.33人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		0.260	人	66,900	17,394	
R04004	技師(A)					
		0.330	人	59,600	19,668	
R04005	技師(B)					
		0.330	人	48,500	16,005	
	合計				53,067	算出数量 1.000 式
	単価		式		53,067	
*** S単 - 2号 ***						
S63003	性能低下予測の見直し 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.27人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.33人				
	5)技師Bの人数	0.31人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		0.270	人	66,900	18,063	
R04004	技師(A)					
		0.330	人	59,600	19,668	
R04005	技師(B)					
		0.310	人	48,500	15,035	
	合計				52,766	算出数量 1.000 式
	単価		式		52,766	
*** S単 - 3号 ***						
S63003	機能保全対策の見直し 設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.39人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.20人				
	5)技師Bの人数	1.84人				
	6)技師Cの人数	2.05人				
	7)技術員の人数	1.77人				
R04003	主任技師					
		0.390	人	66,900	26,091	
R04004	技師(A)					
		1.200	人	59,600	71,520	
R04005	技師(B)					
		1.840	人	48,500	89,240	
R04006	技師(C)					
		2.050	人	40,300	82,615	
R04007	技術員					
		1.770	人	36,100	63,897	
	合計				333,363	算出数量 1.000 式
	単価		式		333,363	
*** S単 - 4号 ***						
S63003	機能保全コストの見直し		式		1,000	歩A 当たり算出

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	2.50人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師		1.000 人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)		2.500 人	59,600	149,000	
R04005	技師(B)		2.500 人	48,500	121,250	
R04006	技師(C)		2.500 人	40,300	100,750	
R04007	技術員		3.000 人	36,100	108,300	
	合計				546,200	算出数量 1.000 式
	単価		式		546,200	
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	機能保全計画の見直し				1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.49人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.09人				
	5)技師Bの人数	0.98人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		0.490 人	66,900	32,781	
R04004	技師(A)		1.090 人	59,600	64,964	
R04005	技師(B)		0.980 人	48,500	47,530	
	合計				145,275	算出数量 1.000 式
	単価		式		145,275	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	点検取りまとめ				1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.27人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.27人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.47人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		0.270 人	66,900	18,063	
R04004	技師(A)		0.270 人	59,600	16,092	
R04006	技師(C)		0.470 人	40,300	18,941	
	合計				53,096	算出数量 1.000 式
	単価		式		53,096	
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	1.資料の検討				1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名		国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名		出水平野地区機能診断調査他業務				
業務別業務名: 設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)主任技師の人数	0.80人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.80人				
	5)技師Bの人数	1.20人				
	6)技師Cの人数	1.20人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		0.800	人	66,900	53,520
R04004	技師(A)		0.800	人	59,600	47,680
R04005	技師(B)		1.200	人	48,500	58,200
R04006	技師(C)		1.200	人	40,300	48,360
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		207,760
	*** S単 - 8号 ***					
S63003	2.落橋防止対策の検討			式		1.000 式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.40人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.60人				
	5)技師Bの人数	2.80人				
	6)技師Cの人数	3.60人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		0.400	人	66,900	26,760
R04004	技師(A)		1.600	人	59,600	95,360
R04005	技師(B)		2.800	人	48,500	135,800
R04006	技師(C)		3.600	人	40,300	145,080
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		403,000
	*** S単 - 9号 ***					
S63003	3.耐震診断(レベル1地震動照査)			式		1.000 式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	8.00人				
	6)技師Cの人数	12.00人				
	7)技術員の人数	5.00人				
R04003	主任技師		2.000	人	66,900	133,800
R04004	技師(A)		3.000	人	59,600	178,800
R04005	技師(B)		8.000	人	48,500	388,000
R04006	技師(C)		12.000	人	40,300	483,600
R04007	技術員		5.000	人	36,100	180,500
	合計					算出数量 1.000 式
	単価			式		1,364,700
	*** S単 - 10号 ***					
S63003	4.照査			式		1.000 式 歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		1.000 人	66,900	66,900	
	合計				66,900	算出数量 1.000 式
	単価			式	66,900	
	*** S単 - 11号 ***					
S63003	5.点検取りまとめ					歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.40人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.20人				
	5)技師Bの人数	1.20人				
	6)技師Cの人数	1.60人				
	7)技術員の人数	1.60人				
R04003	主任技師		0.400 人	66,900	26,760	
R04004	技師(A)		1.200 人	59,600	71,520	
R04005	技師(B)		1.200 人	48,500	58,200	
R04006	技師(C)		1.600 人	40,300	64,480	
R04007	技術員		1.600 人	36,100	57,760	
	合計				278,720	算出数量 1.000 式
	単価			式	278,720	
	*** S単 - 12号 ***					
S63003	1.資料の検討					歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		2.000 人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)		2.000 人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)		2.500 人	48,500	121,250	
	合計				374,250	算出数量 1.000 式
	単価			式	374,250	
	*** S単 - 13号 ***					
S63003	2-1.耐震検討条件の整理					歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師		2.000 人	66,900	133,800	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04004	技師(A)	2.500	人	59,600	149,000	
R04005	技師(B)	3.000	人	48,500	145,500	
	合計				428,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		428,300	
	*** S単 - 14号 ***					
S63003	2-2.耐震性能照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	4.00人				
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	12.00人				
	6)技師Cの人数	16.00人				
	7)技術員の数	15.00人				
R04003	主任技師	4.000	人	66,900	267,600	
R04004	技師(A)	6.000	人	59,600	357,600	
R04005	技師(B)	12.000	人	48,500	582,000	
R04006	技師(C)	16.000	人	40,300	644,800	
R04007	技術員	15.000	人	36,100	541,500	
	合計				2,393,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		2,393,500	
	*** S単 - 15号 ***					
S63003	3.照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	2.00人				
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
	合計				133,800	算出数量 1.000 式
	単価		式		133,800	
	*** S単 - 16号 ***					
S63003	4.点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人				
	2)技師長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.00人				
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	4.00人				
	7)技術員の数	4.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	4.000	人	40,300	161,200	
R04007	技術員	4.000	人	36,100	144,400	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				588,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		588,700	
	*** S単 - 17号 ***					
S63007	基準日額 (現地調査) 設計労務 (直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 0.50人 0.50人 0.50人 0.00人				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
R04003	主任技師 外業	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師 (A) 外業	0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師 (B) 外業	0.500	人	48,500	24,250	
R04006	技師 (C) 外業	0.500	人	40,300	20,150	
	合計				107,650	算出数量 1.000 式
	単価		式		107,650	
	*** S単 - 18号 ***					
S63010	初回 打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.55日		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 着手前・最終 1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.500日 0.550日				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
R04003	主任技師	1.050	人	66,900	70,245	
R04004	技師 (A)	1.050	人	59,600	62,580	
	合計				132,825	算出数量 1.000 回
	単価		回		132,825	
	*** S単 - 19号 ***					
S63010	中間 打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.55日		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 中間 0.00人 1.00人 1.00人 0.00人 0.500日 0.550日				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
R04004	技師 (A)	1.050	人	59,600	62,580	
R04005	技師 (B)	1.050	人	48,500	50,925	
	合計				113,505	算出数量 1.000 回
	単価		回		113,505	
	*** S単 - 20号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63010	最終 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種・着事前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.55日		回		1,000	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ 3)設計用主任技師人数 4)設計用技師(A)人数 5)設計用技師(B)人数 6)設計用技師(C)人数 7)打合せ日数 8)往復移動日数	一般工種 着事前・最終 1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.500日 0.550日		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.050	人	66,900	70,245	
R04004	技師(A)	1.050	人	59,600	62,580	
	合計				132,825	算出数量 1.000 回
	単価		回		132,825	
	*** S単 - 21号 ***					
S63011	初回 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着事前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間		回		1,000	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ内容 3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員 7)打合せ日数 8)往復移動日数 9)宿泊区分 10)交通機関区分 11)高速道路往復料金(税別) 12)鉄道往復1人当料金(税別) 13)バス往復1人当料金(税別) 14)船舶往復1人当料金(税別) 15)航空往復1人当料金(税別) 16)ライトバン使用日数 17)時間区分 18)宿泊料金1人当料金(税別) 19)宿泊手当1人当料金(税別)	一般工種・解析等調査業務 着事前・最終 1人 1人 0人 0人 0.50日 0.55日 通勤により打合せ ライトバン 6,690円 0円 0円 0円 0円 1日 4時間 0円 0円		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[カワサジエン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合計				10,410	算出数量 1.000 回
	単価		回		10,410	
	*** S単 - 22号 ***					
S63011	中間 打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間		回		1,000	歩A 当たり算出
	1)設計工種 2)打合せ内容 3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員 7)打合せ日数 8)往復移動日数 9)宿泊区分 10)交通機関区分 11)高速道路往復料金(税別) 12)鉄道往復1人当料金(税別) 13)バス往復1人当料金(税別) 14)船舶往復1人当料金(税別)	一般工種・解析等調査業務 中間 0人 1人 1人 0人 0.50日 0.55日 通勤により打合せ ライトバン 6,690円 0円 0円 0円		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名: 設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	1日				
	17)時間区分	4時間				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合計				10,410	算出数量 1.000 回
	単価		回		10,410	
	*** S単 - 23号 ***					
S63011	最終		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,ライトバン,1日,4時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容 3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員 5)技師B配置人員 6)技師C配置人員 7)打合せ日数 8)往復移動日数 9)宿泊区分 10)交通機関区分 11)高速道路往復料金(税別) 12)鉄道往復1人当料金(税別) 13)バス往復1人当料金(税別) 14)船舶往復1人当料金(税別) 15)航空往復1人当料金(税別) 16)ライトバン使用日数 17)時間区分 18)宿泊料金1人当料金(税別) 19)宿泊手当1人当料金(税別)	一般工種・解析等調査業務 着手前・最終 1人 1人 0人 0人 0.50日 0.55日 通勤により打合せ ライトバン 6,690円 0円 0円 0円 0円 1日 4時間 0円 0円		深夜時間:0.0	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	6,690	6,690	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,960	1,960	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合計				10,410	算出数量 1.000 回
	単価		回		10,410	
	*** S単 - 24号 ***					
S63017	旅費交通費(設計外業宿泊用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン,0.00日,2日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分 2)高速道路往復料金(税別) 3)鉄道往復料金[全員分合算](税別) 4)バス往復料金[全員分合算](税別) 5)船舶往復料金[全員分合算](税別) 6)航空往復料金[全員分合算](税別) 7)往復移動日数 8)ライトバン使用日数 9)時間区分 10)技師長外業日数 11)主任技師外業日数 12)技師A外業日数 13)技師B外業日数 14)技師C外業日数 15)技術員外業日数 16)宿泊料金1人当料金(税別) 17)宿泊手当1人当料金(税別)	ライトバン 2,582円 0円 0円 0円 0円 0.00日 2日 2時間 0.000日 0.000日 0.000日 0.000日 0.000日 0.000日 0.000日 0円 0円		深夜時間:0.0	豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	2,582	2,582	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	

事業名		国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名		出水平野地区機能診断調査他業務				
業務別業務名:設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
P34001	ガソリン J I S 2 号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合計				7,642	算出数量 1.000 式
	単価		式		7,642	
	*** S単 - 25号 ***					
S63024	業務報告書作成 (その他)		式		1,000	歩A 当たり算出
	業務報告書作成 (その他) 1. A - 4 以下, 500, 1, A - 4 以下, 厚手 (金文字入)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 報告書焼付部数 (部)	1		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 報告書規格区分	A - 4 以下		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 原稿枚数区分 (枚)	500		深夜時間: 0.0		
	4) 表紙部数 (部)	1				
	5) 表紙規格区分	A - 4 以下				
	6) 表紙区分	厚手 (金文字入)				
P43422	報告書焼付代 (コピー) A - 4 以下 500 枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43450	報告書表紙代 厚手 (金文字入) A - 4	1.000	部	6,170	6,170	
	合計				12,920	算出数量 1.000 式
	単価		式		12,920	
	*** S単 - 26号 ***					
S65502	機能診断 点的構造物		式		1,000	歩A 当たり算出
	機能診断 点的構造物 1箇所. 機場			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 設計対象施設数	1箇所		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 対象工種	機場		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 1. 業務準備	計上する		深夜時間: 0.0		
	4) 2-1. 事前調査資料調査	計上する				
	5) 2-2. 事前調査問診調査	計上する				
	6) 3. 施設機能の検討	計上しない				
	7) 5. 性能低下要因の推定	計上しない				
	8) 10. 健全度評価	計上しない				
	9) 11. 性能低下予測	計上しない				
	10) 12. 管理水準の設定	計上しない				
	11) 13. 機能保全対策の検討	計上しない				
	12) 15. 機能保全計画の策定	計上しない				
	13) 16. 農業水利ストック情報データ入力・登録	計上する				
	14) 17. 点検取りまとめ	計上しない				
	15) 1個別補正業務準備	1.00				
	16) 2-1個別補正資料調査	1.00				
	17) 2-2個別補正問診調査	1.00				
	18) 3個別補正施設機能の検討	1.00				
	19) 5個別補正性能低下要因の推定	1.00				
	20) 10個別補正健全度評価	1.00				
	21) 11個別補正性能低下予測	1.00				
	22) 12個別補正管理水準の設定	1.00				
	23) 13個別補正機能保全対策の検討	1.00				
	24) 15個別補正機能保全計画の策定	1.00				
	25) 16個別補正ストック情報データ入力・登録	1.00				
	26) 17個別補正点検取りまとめ	1.00				
R04003	主任技師 内業	0.390	人	66,900	26,091	
R04004	技師 (A) 内業	1.270	人	59,600	75,692	
R04005	技師 (B) 内業	2.310	人	48,500	112,035	
R04006	技師 (C) 内業	1.740	人	40,300	70,122	
	合計				283,940	算出数量 1.000 式
	単価		式		283,940	

















事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務					
業務別業務名: 調査業務						
コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S16001	*** S単 - 1号 *** トラック[クレーン装置付] トラック[クレーン装置付] ﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.0t吊, 運転1時間当たり算出		時間	7,871		歩A・単A
S62031	*** S単 - 2号 *** 【機械ボーリング(地質調査用)】 【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ﾎｰﾘﾝｸﾞ(ｵｰﾙﾌﾟ), 66, 砂・砂質土, 50m以下, 鉛直下方		m	17,900		歩A・単A
S62031	*** S単 - 3号 *** 【機械ボーリング(地質調査用)】 【機械ボーリング(地質調査用)】 岩盤ﾎｰﾘﾝｸﾞ(ｵｰﾙﾌﾟ), 66, 軟岩, 50m以下, 鉛直下方		m	34,400		歩A・単A
S62033	*** S単 - 4号 *** 【サウンディング及び原位置試験】 【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 砂・砂質土,		回	10,400		歩A・単A
S62033	*** S単 - 5号 *** 【サウンディング及び原位置試験】 【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験, 軟岩,		回	17,100		歩A・単A
S62036	*** S単 - 6号 *** 【足場仮設】 【足場仮設】 平坦地足場, 高さ0.3m以下, 50m以下		箇所	64,300		歩A・単A
S62037	*** S単 - 7号 *** 【準備及び跡片付け】 【準備及び跡片付け】		業務	277,000		歩A・単A
S62039	*** S単 - 8号 *** 【その他間接調査費】 【その他間接調査費】 0箇所, 2箇所, 2箇所		業務	58,780		歩A・単A
S62040	*** S単 - 9号 *** 【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】 【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】 2.0		業務	89,040		歩A・単A
S62041	*** S単 - 10号 *** 【断面図等の作成(一般調査業務費)】 【断面図等の作成(一般調査業務費)】 2.0		業務	89,040		歩A・単A
S62047	*** S単 - 11号 *** 【地盤情報検定費】 【地盤情報検定費】 A検定		本	2,000		歩A・単A
S63001	*** S単 - 12号 *** 調査業務基準日額 調査業務基準日額 0.50人, 0.50人, 0.50人, 0日, 1日		式	66,950		歩A・単A
S63003	*** S単 - 13号 *** 設計労務(直接人件費内業) 設計労務(直接人件費内業)		式	125,700		歩A・単A
S63017	*** S単 - 14号 *** 旅費交通費(設計外業宿泊用) 旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン, 0.00日, 2日, 2時間		式	7,642		歩A・単A
S65001	*** S単 - 15号 *** 現地踏査 現地踏査 点的構造物		施設	64,452		歩A・単A
S65002	*** S単 - 16号 *** 近接目視 近接目視 点的構造物, 25㎡		式	86,556		歩A・単A
S65003	*** S単 - 17号 *** コンクリート強度推定調査 コンクリート強度推定調査		測点	4,202		歩A・単A
S65004	*** S単 - 18号 *** 鉄筋調査 鉄筋調査		箇所	3,973		歩A・単A
S65009	*** S単 - 19号 *** 中性化深さ試験(ドリル法) 中性化深さ試験(ドリル法)		箇所	8,510		歩A・単A
X63005	*** X単 - 1号 *** 旅費交通費(調査外業宿泊用) 旅費交通費(調査外業宿泊用) ライトバン, 1.00日, 2日, 2時間		式	7,642		歩A・単A

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S16001	トラック[クレーン装置付]		時間		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	トラック[クレーン装置付] ﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.0t吊., 運転 1時間当たり算出			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械コード 単位が時間のみ			MO3103	豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	2)機械コード (同上)			MO3103	基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	3)機械損料算出区分			運転 1時間当たり算出	深夜時間:0.0	
	4)運転 1日当たり運転時間(T)			5.8時間		
	5)運転日に対する供用日の割合(YC)			1.23		
	6)単価計上区分			機械損料等+燃料+運転労務		
	7)岩石補正区分			岩石補正なし		
	8)燃料の計上方法			機械経費算定基準値による		
	9)燃料区分			軽油		
	10)燃料消費量(入力の場合)			0.0		
	11)消耗部品の計上の有無			消耗部品を計上しない		
	13)消耗部品費の適用条件(2)			消耗部品なし		
	14)名称(消耗部品)			-		
	15)規格(消耗部品)			-		
MO3103	トラック[クレーン装置付] ﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸ4～4.5t積 2.0t吊	1.000	時間	2,010	2,010	
P34029	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	5.300	L	150	795	
R01021	運転手(特殊)	0.170	人	29,800	5,066	
	合計				7,871	算出数量 1.000 各単位
	単価		各単位		7,871	
Y00001	単位					
	*** S単 - 2号 ***					
S62031	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 土質ﾎｰﾘﾝｸﾞ(ｵｰﾙﾌﾟ), 66,砂・砂質土,,50m以下,鉛直下方			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分			土質ﾎｰﾘﾝｸﾞ(ｵｰﾙﾌﾟ)	豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	2)孔径区分			66	基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	3)土質区分			砂・砂質土	深夜時間:0.0	
	5)せん孔深度			50m以下		
	6)せん孔方向			鉛直下方		
A30087	土質ボーリング(ｵｰﾙﾌﾟﾎｰﾘﾝｸﾞ 深度50m以下) 66mm 砂・砂質土 鉛直下方	1.000	m	17,900	17,900	
	合計				17,900	算出数量 1.000 m
	単価		m		17,900	
R04041	地質調査技師 外業	0.100	人	56,000	5,600	
R04042	主任地質調査員 外業	0.200	人	43,800	8,760	
R04043	地質調査員 外業	0.200	人	34,100	6,820	
	*** S単 - 3号 ***					
S62031	【機械ボーリング(地質調査用)】		m		1,000 m	歩A 当たり算出
	【機械ボーリング(地質調査用)】 岩盤ﾎｰﾘﾝｸﾞ(ｵｰﾙﾌﾟ), 66,,軟岩,50m以下,鉛直下方			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分			岩盤ﾎｰﾘﾝｸﾞ(ｵｰﾙﾌﾟ)	豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし
	2)孔径区分			66	基本給時間:8.0	超勤時間:0.0
	4)岩区分			軟岩	深夜時間:0.0	
	5)せん孔深度			50m以下		
	6)せん孔方向			鉛直下方		
A30021	岩盤ボーリング(深度50m以下) 66mm 軟岩 鉛直下方	1.000	m	34,400	34,400	
	合計				34,400	算出数量 1.000 m
	単価		m		34,400	
R04041	地質調査技師 外業	0.130	人	56,000	7,280	
R04042	主任地質調査員 外業	0.250	人	43,800	10,950	
R04043	地質調査員 外業	0.250	人	34,100	8,525	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務					
業務別業務名: 調査業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 4号 ***						
S62033	【サウンディング及び原位置試験】		回		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,砂・砂質土,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	標準貫入試験		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	砂・砂質土		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30052	標準貫入試験 砂・砂質土	1.000	回	10,400	10,400	
	合計				10,400	算出数量 1.000 [各単位]
	単価		[各単位]		10,400	
R04041	地質調査技師 外業	0.040	人	56,000	2,240	
R04042	主任地質調査員 外業	0.070	人	43,800	3,066	
R04043	地質調査員 外業	0.070	人	34,100	2,387	
*** S単 - 5号 ***						
S62033	【サウンディング及び原位置試験】		回		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	【サウンディング及び原位置試験】 標準貫入試験,軟岩,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	標準貫入試験		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	軟岩		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30055	標準貫入試験 軟岩	1.000	回	17,100	17,100	
	合計				17,100	算出数量 1.000 [各単位]
	単価		[各単位]		17,100	
R04041	地質調査技師 外業	0.050	人	56,000	2,800	
R04042	主任地質調査員 外業	0.090	人	43,800	3,942	
R04043	地質調査員 外業	0.090	人	34,100	3,069	
*** S単 - 6号 ***						
S62036	【足場仮設】		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
	【足場仮設】 平坦地足場,高さ0.3m以下,50m以下			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)施工区分	平坦地足場		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格	高さ0.3m以下		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)深度区分	50m以下		深夜時間:0.0		
A30130	平坦地足場 板材足場(0.3m以下)	1.000	箇所	64,300	64,300	
	合計				64,300	算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所		64,300	
R04042	主任地質調査員 外業	0.250	人	43,800	10,950	
R04043	地質調査員 外業	0.500	人	34,100	17,050	
*** S単 - 7号 ***						
S62037	【準備及び跡片付け】		業務		1,000 業務	歩A 当たり算出
	【準備及び跡片付け】			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)準備及び跡片付け	計上する		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30141	準備及び跡片付け	1.000	業務	277,000	277,000	
	合計				277,000	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		277,000	

事業名		国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名		出水平野地区機能診断調査他業務				
業務別業務名: 調査業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04041	地質調査技師 外業	1.000	人	56,000	56,000	
R04042	主任地質調査員 外業	1.000	人	43,800	43,800	
R04043	地質調査員 外業	0.500	人	34,100	17,050	
*** S単 - 8号 ***						
S62039	【その他間接調査費】		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	【その他間接調査費】 0箇所,2箇所,2箇所			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)環境保全	0箇所		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)調査孔閉塞	2箇所		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)給水費	2箇所		深夜時間:0.0		
A30143	環境保全 仮囲い	0.000	箇所	57,600	0	
A30144	調査孔閉塞	2.000	箇所	7,390	14,780	
A30146	給水費(ポンプ運転) 2.0m以上15.0m以下	2.000	箇所	22,000	44,000	
	合計				58,780	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		58,780	
R04042	主任地質調査員 外業	0.000	人	43,800	0	
R04043	地質調査員 外業	0.000	人	34,100	0	
R04042	主任地質調査員 外業	0.220	人	43,800	9,636	
R04043	地質調査員 外業	0.220	人	34,100	7,502	
*** S単 - 9号 ***						
S62040	【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	【資料整理とりまとめ(一般調査業務費)】 2.0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象土質" -リグ" 本数	2		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)対象岩盤" -リグ" 本数	0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30153	資料整理とりまとめ 一般調査業務費	0.840	業務	106,000	89,040	
	合計				89,040	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		89,040	
*** S単 - 10号 ***						
S62041	【断面図等の作成(一般調査業務費)】		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	【断面図等の作成(一般調査業務費)】 2.0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象土質" -リグ" 本数	2		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)対象岩盤" -リグ" 本数	0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30155	断面図等の作成 一般調査業務費	0.840	業務	106,000	89,040	
	合計				89,040	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		89,040	
*** S単 - 11号 ***						
S62047	【地盤情報検定費】		本		1.000 本	歩A 当たり算出
	【地盤情報検定費】 A 検定			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)検定区分	A 検定		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30171	地盤情報検定費 A 検定	1.000	本	2,000	2,000	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				2,000	算出数量 1.000 本
	単価				2,000	
	*** S単 - 12号 ***					
S63001	調査業務基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	調査業務基準日額 0.50人,0.50人,0.50人,0日,1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)地質調査技師の人数	0.50人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)主任地質調査員の人数	0.50人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)地質調査員の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)打合せ日数	0.000日				
	5)往復移動日数	1.000日				
R04041	地質調査技師	0.500	人	56,000	28,000	
R04042	主任地質調査員	0.500	人	43,800	21,900	
R04043	地質調査員	0.500	人	34,100	17,050	
	合計				66,950	算出数量 1.000 式
	単価		式		66,950	
	*** S単 - 13号 ***					
S63003	設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.50人				
	5)技師Bの人数	0.50人				
	6)技師Cの人数	0.50人				
	7)技術員の人数	0.50人				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師(B)	0.500	人	48,500	24,250	
R04006	技師(C)	0.500	人	40,300	20,150	
R04007	技術員	0.500	人	36,100	18,050	
	合計				125,700	算出数量 1.000 式
	単価		式		125,700	
	*** S単 - 14号 ***					
S63017	旅費交通費(設計外業宿泊用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費(設計外業宿泊用) ライトバン,0.00日,2日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)高速道路往復料金(税別)	2,582円		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0円		深夜時間:0.0		
	4)バス往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	5)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	6)航空往復料金[全員分合算](税別)	0円				
	7)往復移動日数	0.00日				
	8)ライトバン使用日数	2日				
	9)時間区分	2時間				
	10)技師長外業日数	0.000日				
	11)主任技師外業日数	1.000日				
	12)技師A外業日数	1.000日				
	13)技師B外業日数	2.000日				
	14)技師C外業日数	2.000日				
	15)技術員外業日数	1.000日				
	16)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	17)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き	1.000	式	2,582	2,582	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務					
業務別業務名: 調査業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
M28121	バイク[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合計				7,642	算出数量 1.000 式
	単価		式		7,642	
	*** S単 - 15号 ***					
S65001	現地踏査 現地踏査 点的構造物 1)対象構造物		施設		1,000 日	歩A 当たり算出
		点的構造物		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師 外業	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A) 外業	1.000	人	59,600	59,600	
Y00004	機械経費	0.015		126,500	1,898	
Y00004	材料費	0.004		126,500	506	
	合計				128,904	算出数量 2.000 [各単位]
	単価		[各単位]		64,452	
Y00001	単位					
	*** S単 - 16号 ***					
S65002	近接目視 近接目視 点的構造物,25㎡ 1)対象構造物 2)作業対象面積		式		1,000 式	歩A 当たり算出
		点的構造物 25㎡		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師(B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師(C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		124,900	3,747	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		124,900	2,498	
	合計				131,145	算出数量 1.000 式
	単価		式		86,556	
	*** S単 - 17号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査 コンクリート強度推定調査 1)強度推定調査		測点		1,000 日	歩A 当たり算出
		計上する		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04006	技師(C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		76,400	7,640	
	合計				84,040	算出数量 20.000 測点
	単価		測点		4,202	
	*** S単 - 18号 ***					

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務				

業務別業務名: 調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S65004	鉄筋調査		箇所		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)鉄筋調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04006	技師(C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
R04007	技術員 外業	1.000	人	36,100	36,100	
Y00004	機械経費 30.0%	0.300		76,400	22,920	
	合計				99,320	算出数量 25.000 箇所
	単価		箇所		3,973	
	*** S単 - 19号 ***					
S65009	中性化深さ試験(ドリル法)		箇所		1.000 日	歩A 当たり算出
	中性化深さ試験(ドリル法)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)中性化深さ試験(ドリル法)	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04005	技師(B) 外業	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師(C) 外業	1.000	人	40,300	40,300	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		88,800	8,880	
Y00004	材料費 5.0%	0.050		88,800	4,440	
	合計				102,120	算出数量 12.000 断面
	単価		断面		8,510	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名: 調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** X単 - 1号 ***					
X63005	旅費交通費(調査外業宿泊用)		式		1.000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(調査外業宿泊用) ライトバン,1.00日,2日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)高速道路往復料金(税別)	2.582		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復料金[全員分合算](税別)	0		深夜時間:0.0		
	4)バス往復料金[全員分合算](税別)	0				
	5)船舶往復料金[全員分合算](税別)	0				
	6)航空往復料金[全員分合算](税別)	0				
	7)往復移動日数	1.00日				
	8)ライトバン使用日数	2日				
	9)時間区分	2時間				
	10)地質調査技師外業日数	4.460日				
	11)主任地質調査員外業日数	8.350日				
	12)地質調査員外業日数	8.350日				
	13)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	14)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		1.000 式	2,582	2,582	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合計				7,642	算出数量 1.000 式
	単価		式		7,642	













事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	出水平野地区機能診断調査他業務

業務別業務名: 調査業務 ( 解析 )

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 ***					
S62042	【既存資料の収集・現地調査】		業務		1,000	業務 歩A 当たり算出
	【既存資料の収集・現地調査】 2.0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象土質観測-リソグ'本数	2		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)対象岩盤観測-リソグ'本数	0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30164	既存資料の収集・現地調査<新積算法> 解析等調査業務費<新積算法単価>	0.860	業務	113,000	97,180	
	合計				97,180	算出数量 1,000 業務
	単価		業務		97,180	
	*** S単 - 2号 ***					
S62043	【資料整理とりまとめ(解析等調査業務費)】		業務		1,000	業務 歩A 当たり算出
	【資料整理とりまとめ(解析等調査業務費)】 2.0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象土質観測-リソグ'本数	2		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)対象岩盤観測-リソグ'本数	0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30165	資料整理とりまとめ<新積算法> 解析等調査業務費<新積算法単価>	0.840	業務	90,000	75,600	
	合計				75,600	算出数量 1,000 業務
	単価		業務		75,600	
	*** S単 - 3号 ***					
S62044	【断面図等の作成(解析等調査業務)】		業務		1,000	業務 歩A 当たり算出
	【断面図等の作成(解析等調査業務)】 2.0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象土質観測-リソグ'本数	2		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)対象岩盤観測-リソグ'本数	0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
A30166	断面図等作成<新積算法> 解析等調査業務費<新積算法単価>	0.840	業務	87,900	73,836	
	合計				73,836	算出数量 1,000 業務
	単価		業務		73,836	
	*** S単 - 4号 ***					
S62045	【総合解析とりまとめ】		業務		1,000	業務 歩A 当たり算出
	【総合解析とりまとめ】 2.0,0~3種			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)対象土質観測-リソグ'本数	2		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)対象岩盤観測-リソグ'本数	0		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)試験種目数	0~3種		深夜時間:0.0		
A30167	総合解析とりまとめ<新積算法> 解析等調査業務費<新積算法単価>	0.920	業務	486,000	447,120	
	合計				447,120	算出数量 1,000 業務
	単価		業務		447,120	

令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区機能診断調査他業務

特別仕様書

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

## 第1章 総 則

(適用範囲)

第1-1条 令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区機能診断調査他業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書(設)」という。)及び、「地質・土質調査業務共通仕様書」(以下「共通仕様書(地)」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第1-2条 本業務は、国営土地改良事業「出水平野地区」で造成された施設の機能診断調査を行い、施設の機能を保全するために必要な対策方法等を定めた施設の機能保全計画書の更新を行うとともに、小原揚水機場建屋の耐震性能照査を実施し、次期国営事業における施設改修計画の構想検討を行うための基礎資料とするものである。

(場 所)

第1-3条 本業務における対象施設の場所は、鹿児島県出水市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地への立入り等)

第1-4条 作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書(設)第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(低入札価格契約における第三者照査)

- 第1-5条
1. 予算決算及び会計令(以下、「予決令」という。)第85条の基準に基づく価格(以下、「調査基準価格」という。)を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書(設)第1-7条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査(以下、「第三者照査」という。)を実施しなければならない。
  2. 第三者照査の企業に要求される資格
    - (1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
    - (2) 九州農政局において、令和7年度(当該業種区分)の一般競争(指名競争)参加資格の認定を受けていること。
    - (3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
    - (4) 共通仕様書(設)第1-30条守秘義務を遵守できるものであること。
    - (5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
      - ア 資本関係
        - (ア) 親会社と子会社の関係にある
        - (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある
      - イ 人的関係
        - (ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている
  3. 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格  
第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。
    - (1) 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
    - (2) 照査技術者と同等の技術者資格を有する者
  4. 照査技術者の通知  
受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5. 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6. 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第 4-1 条業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7. 第三者照査の照査技術者の AGRIS 登録

共通仕様書（設）第 1-12 条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8. 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第 41 条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

（一般事項）

第 1－6 条 業務請負契約書及び共通仕様書（設）（地）に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

1. 作業実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
2. 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有した者とする。
3. 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

（履行確実性評価の達成状況の確認）

第 1－7 条 本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る価格で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

1. 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
2. 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
3. その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
4. 業務成果品のミス、不備等

（管理技術者）

第 1－8 条 1. 管理技術者は、共通仕様書（設）第 1－6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博 士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2. 調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、管理技術者は屋外で行う調査の

実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(照査技術者)

第1-9条 1. 照査技術者は、共通仕様書(設)第1-7条第2項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の業務に該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技 術 士	総合技術監理	農業-農業土木 農業-農業農村工学
	農 業	農業土木 農業農村工学
博 士	当該業務に関連する学術部門	
ビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

2. 共通仕様書(設)第1-7条第4項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- (1) 業務作業計画作成時
- (2) 物性値の整理完了時
- (3) 耐震性能照査検討時
- (4) 耐震性能照査結果とりまとめ時
- (5) その他、照査計画作成時において監督職員が指示した場合

3. 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第1-10条 担当技術者は共通仕様書(設)第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-11条 共通仕様書(設)第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書(設)第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

1. 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職および担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
2. 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-12条 受注者は、共通仕様書(設)第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条 本業務の基本的事項に関しては、次に示す図書によるものとする。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を得るものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	土地改良事業設計指針	(社) 農業農村工学会	平成27年5月

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
	「耐震設計」		
2	土地改良事業計画設計基準及び運用・解説 「ポンプ場」	(社) 農業農村工学会	平成 30 年 5 月
3	官庁施設の総合耐震診断・改修基準	国土交通省 大臣官房官庁営繕部	平成 8 年 10 月
4	既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準同解説	(一財) 日本建築防災協会	平成 29 年 7 月
5	農業水利施設の機能保全の手引き (参考資料編含む)	食料・農業・農村政策審議会 農業農村整備部会 技術小委員会	令和 5 年 4 月
6	農業水利施設の機能保全の手引き 「パイプライン」	農林水産省農村振興局	平成 28 年 8 月
7	農業水利施設の長寿命化のための手引き	農林水産省農村振興局	平成 27 年 11 月

(作業条件)

第 2-2 条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

1. 作業の実施にあたっては、施設管理者との調整や立ち会い等が必要なため、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、監督職員と十分打合せを行い手戻りのないよう留意しなければならない。
2. 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
3. 現地調査に伴い施設内に立入る場合は、監督職員と打合せを行い施設管理者と調整を実施するものとする。
4. 現地調査の結果、仮設等が必要となった場合は監督職員と協議するものとする。
5. 作業上、支障となる状態が発生した場合は、監督職員と協議するものとする。

(対象施設)

第 2-3 条 本業務の対象となる施設等詳細は別紙 1 【業務対象施設一覧表】による。

(参考図書)

第 2-4 条 本業務の参考にする図書は、共通仕様書 (設) 第 2-1 条によるほか次表によるものとする。

番 号	図書・資料名称	発 行 所	制定(発行)年月
1	コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針 -2022-	(公社) 日本コンクリート工学会	令和 4 年 6 月
2	コンクリート診断技術 '23		令和 5 年 5 月
3	コンクリート標準示方書 (設計編)	(公社) 土木学会	令和 5 年 3 月
4	コンクリート標準示方書 (施工編)		令和 5 年 9 月
5	コンクリート標準示方書 (維持管理編)		令和 5 年 3 月
6	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【パイプライン編】(案)	農林水産省農村振興局	平成 29 年 4 月
7	農業水利施設のコンクリート構造物調査・評価・対策工法選定マニュアル		平成 19 年 4 月
8	農業水利施設の機能保全に関する調査計画の参考資料(計画編・調査編)(案)		平成 30 年 3 月

(貸与資料)

第2-5条 貸与資料は、次のとおりである。

分類	貸与資料	数量
現況関係資料	土地改良施設整理台帳付属図面	1式
	出水平野地区事業誌、事業成績書等	1式
機能診断関係資料	平成20年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 出水平野地区 施設機能診断調査業務 報告書	1式
	平成21年度 国営造成水利施設保全対策指導事業 出水平野地区 施設機能診断調査業務 報告書	1式
	令和元年度 国営施設応急対策事業 出水平野地区 原因究明補足調査業務 報告書	1式
	令和元年度 国営施設応急対策事業 出水平野地区 施設長寿命化計画補足調査業務	1式

また、上記以外に必要な資料がある場合は監督職員と協議するものとする。

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-6条 第2-4条、第2-5条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

1. 参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
2. 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、改訂された場合は、監督職員と協議するものとする。
3. 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連業務)

第2-7条 本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた業務成果としなければならない。

業務名	業務実施期間
令和7年度 地域整備方向検討調査 出水平野地域整備構想補足検討業務	令和7年5月21日 ～令和8年3月11日

### 第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条 本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は、別紙1【業務対象施設一覧表】、別紙2-1【機能診断 小原揚水機場(建屋)】、別紙2-2【耐震性能照査 小原揚水機場(建屋)】、別紙2-3【作業項目内訳表】耐震性能照査 大野原送水路(平良川水管橋)、野添送水路(1~3号水管橋)、別紙3【現地調査作業一覧表】、別紙4【地質調査作業一覧表】に示すものとする。

作業項目表

作業項目	数量	備考
機能診断作業(小原揚水機場建屋)	1施設	施設機械除く
耐震性能照査(小原揚水機場)	1式	
耐震性能照査(水管橋)	1式	大野原送水路 1箇所 野添送水路 3箇所

地質調査作業	1 式	小原揚水機場、平良川水管橋 2 孔 $\Sigma L=23m$
--------	-----	-------------------------------------

(作業の留意点)

第3-2条 業務の実施あたって、特に留意する点は次のとおりとする。

1. 耐震照査・機能診断作業

- (1) 中性化深さ調査(ドリル法)を行う際は構造物への影響が最小限となるよう配慮する。  
なお、削孔後は既存施設の機能を損なわないよう無収縮モルタル等により復旧を行うものとする。
- (2) 現地調査において、著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。
- (3) 現地踏査等施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受けて実施するものとする。
- (4) 定点調査(近接目視、コンクリート強度推定調査、中性化深さ調査)の調査箇所は、現地踏査等の結果を踏まえ、監督職員と協議して決定することとする。
- (5) 機能保全対策内容の検討にあたっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (6) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (7) 第2-4条、第2-5条及び共通仕様書(設)に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (8) 機能保全対策シナリオの検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)及び新技術情報システム(NETIS)等を積極的に活用しなければならない。  
・農業農村整備民間技術情報データベース(NNTD)については、<https://www.nn-techinfo.jp>を参照。  
・新技術情報システム(NETIS)については、<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS>を参照。
- (9) 対策内容の検討にあたっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。
- (10) 数量計算にあたっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。  
・「工事工種の体系化」は、[https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi\\_kousyu/](https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/)を参照。
- (11) 農業水利ストック情報データの作成は、機能診断情報記入用Excelファイルによる入力のほか、登録情報データ外部入出力機能等を適宜使用することを基本とするが、作業方法、内容等について監督職員と十分協議を行った上作業を行うものとする。なお、作成した電子データは成果物に含むものとする。

2. 地質調査作業

- (1) ボーリング調査  
ボーリング調査の調査方法は、共通仕様書(地)第3-3条に基づくものとする。
- (2) 標準貫入試験  
標準貫入試験は、ボーリング孔において地表より1m地点より1m毎に実施するものとする。なお、調査方法は、共通仕様書(地)第5-3条に基づくものとする。
- (3) ボーリング調査の打止め深度  
ボーリングの打止め深度について、N値50以上を3回確認後に完了を想定しているが、それによらない場合は、別途監督職員と協議するものとする。
- (4) 土質試験  
採取した試料の土質試験は、特に定めがない限り共通仕様書(地)第11条-1条によ

るものとするが、詳細については、地盤材料試験法及び監督職員の指示による。

(5) ボーリング成果

ボーリング成果は、共通仕様書（地）第1-17条に基づき、地盤情報を別途定める検定に関する技術を有する第三者機関による検定を受けたうえで、発注者が指示する地盤情報データベースに登録しなければならない。

なお、検定の申込みにあたり、地盤情報の公開・利用の可否について、発注者と協議を行うこととする。

（業務写真における黒板情報の電子化）

第3-3条 黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（1）から（4）によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC暗号リスト)」(URL

「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

ア 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

イ 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

ア 受注者は、（1）の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

イ 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。

なお、上記アに示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

ウ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、（3）に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に

URL([https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index\\_digital.html](https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html))のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

（打合せ）

第4-1条 共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（小原揚水機場 耐震照査資料検討後）

第3回 中間打合せ（小原揚水機場 耐震検討条件の整理後）

第4回 中間打合せ（小原揚水機場 耐震性能照査後）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合には、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書（設）第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

（成果物）

第5-1条 成果物を共通仕様書（設）第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体（CD-R若しくはDVD-R）正副2部
- (2) 成果物の出力1部（黒表紙\*、金文字入）※JIS Z8102:2001に規定する色No. 269

なお、報告書には本業務の要約版を掲載するものとし、その内容については、別途監督職員の指示によるものとする。

（成果物の提出先）

第5-2条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

宮崎県都城市志比田町 4778-1

九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所

## 第6章 契約変更

（契約変更）

第6-1条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「作業条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第2-3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。
- (3) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (4) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (5) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (6) 履行期間の変更が生じた場合。
- (7) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (8) その他

## 第7章 定めなき事項

（定めなき事項）

第7-1条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じ監督職員と協議するものとする。

## 【業務対象施設一覧表】

施設名称 ・対象構造物	構造物の規格等	単位	数量	備考
①小原揚水機場				
揚水機場	鉄筋コンクリート 建築面積 277.02m <sup>2</sup> 地下1階床面積 277.02m <sup>2</sup> 地上1階床面積 208.62m <sup>2</sup>	箇所	1	
②大野原送水路				
水管橋	鋼管 φ1000mm	m	31.5	
③野添送水路				
1号水管橋	鋼管 φ700mm	m	22.5	
2号水路橋	鋼管 φ700mm	m	30.0	
3号水路橋	鋼管 φ700mm	m	20.0	

## 別紙2-1

【作業項目内訳表】機能診断：小原揚水機場（建屋）

作業項目	作業内容	備考
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	
2. 事前調査 2-1 資料調査	施設完成時の設計図書、過年度業務及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。 なお、資料収集に際しては農業水利ストック情報データベースを活用し、設備の経歴、使用環境、地域特性等の情報を収集、整理する。	
2-2 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状箇所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	
3. 健全度評価の見直し	現地調査（定点調査）結果に基づき、調査単位毎に、過年度業務で決定した施設の健全度判定の見直しを行う。	
4. 性能低下予測の算定 の見直し	健全度評価結果及び過年度業務を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、過年度業務で作成した性能低下予測の見直しを行う。	
5. 機能保全対策の見直し	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定した対策工法・実施時期・実施範囲を組み合わせて過年度業務で決定した対策シナリオの見直しを行う。	
6. 機能保全コストの見直し	上記機能保全対策の検討結果を踏まえて、対策シナリオ毎に機能保全コストを見直し、比較する。 （コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。）	
7. 機能保全計画の見直し	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画の見直しを行う。	
8. 農業水利ストック 情報データの入力及び 登録	上記の作業において作成した資料により、農業水利ストック情報データベース資料の入力及び登録を行う。	
9. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	

## 別紙2-2

【作業項目内訳表】耐震性能照査 小原揚水機場（建屋）

作業項目	作業内容	備考
1. 資料の検討	施設状況調査、耐震性能照査の検討のための資料収集及び貸与資料の内容を把握し作業計画を策定する。	
2. 耐震性能照査 2-1. 耐震検討条件 の整理	貸与資料及び現地での地質調査結果を踏まえて、耐震性能照査に必要な地震物性値等の耐震検討条件（液状化判定を含む）を整理する。	
2-2. 耐震性能照査 （建築構造物）	施設状況調査の結果を基に、小原揚水機場（建屋＋基礎）について、「官庁施設の総合耐震診断・改修基準」に基づき耐震性能照査を行う。 ○対象施設（耐震安全性能の分類：Ⅲ類） ・小原揚水機場（RC造 地上1階、地下1階式 建築面積：277.02㎡ 基礎形式：直接基礎	
3. 照査	照査計画書に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
4. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	

## 【作業項目内訳表】耐震性能照査 大野原送水路（平良川水管橋）、野添送水路（1～3号水管橋）

作業項目	作業内容	備考
1. 資料の検討	施設状況調査、耐震性能照査の検討のための資料収集及び貸与資料の内容を把握し作業計画を策定する。	
2. 落橋防止対策の検討	平良川水管橋、野添水管橋（1～3号）について、落橋防止対策の要否の検討を行う。 なお、支承縁端距離が不足する場合、又は落橋防止構造の設置が必要となる場合は、標準的な工法により概算工事費の算定を行う。	
3. 耐震診断（レベル1地震動照査）	平良川水管橋について、貸与資料及び、現地での地質調査結果及び、既存の図面から配筋の径・ピッチ等を基に、レベル1地震動での照査を行う	
4. 照査	照査計画書に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
5. 点検取りまとめ	各作業項目の成果物の点検、取りまとめ及び報告書の作成を行う。	

別紙3【現地調査作業一覧表】

作業項目	規格	単位	数量	備考
①小原揚水機場	Q=1.512m <sup>3</sup> /s			
(1) 現地踏査	揚水機場建屋	施設	1	
(2) 近視目視(定点)	揚水機場建屋	m <sup>2</sup>	25.0	
(3) コンクリート強度推定調査	JISA115(リバウンドハンマー)	測点	2	
(4) 鉄筋探査		箇所	2	
(5) 中性化深さ調査	NDIS3419-1999 フェノールフタレイン溶液	箇所	2	

別紙4 【地質調査作業一覧表】

作業項目	規格	作業条件	単位	数量	備考
<b>1. 一般調査</b>					
<b>(1) 小原揚水機場</b>					
1) 調査ボーリング			本	1	
			m	13.0	
1)-1. 土質ボーリング	φ66 オールコア	砂質土	m	10	
1)-2. 岩盤ボーリング	φ66 オールコア	軟岩	m	3	
2) 標準貫入試験					
2)-1. 標準貫入試験		砂質土	m	10	
2)-2. 標準貫入試験		軟岩	m	3	
<b>(2) 平良川水管橋</b>					
1) 調査ボーリング			本	1	
			m	10.0	
1)-1. 土質ボーリング	φ66 オールコア	砂質土	m	7	
1)-2. 岩盤ボーリング	φ66 オールコア	軟岩	m	3	
2) 標準貫入試験					
2)-1. 標準貫入試験		砂質土	m	7	
2)-2. 標準貫入試験		軟岩	m	3	
<b>(3) 資料整理取りまとめ</b>	土質ボーリング：2本		業務	1	
<b>(4) 断面図等の作成</b>	土質ボーリング：2本		業務	1	
<b>2. 物理試験</b>					
1) 土の粒度試験	JIS A 1204		試料	6	
2) 土粒子の密度試験	JIS A 1202		試料	6	
<b>3. 運搬費・仮設工・準備費</b>					
1) 運搬費		ボーリング機材運搬	式	1	
2) 準備及び後片付け			業務	1	
3) 仮設足場工		平坦地：2箇所	式	1	
4) その他間接費		閉塞・給水費	箇所	2	
<b>4. 解析作業</b>					
1) 既存資料の収集・現地調査	土質ボーリング：2本		業務	1	
2) 断面図等の作成	土質ボーリング：2本		業務	1	
3) 資料整理取りまとめ	土質ボーリング：2本		業務	1	
4) 総合解析とりまとめ	土質ボーリング：2本		業務	1	

令和7年度  
国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区機能診断調査他業務

図面目録

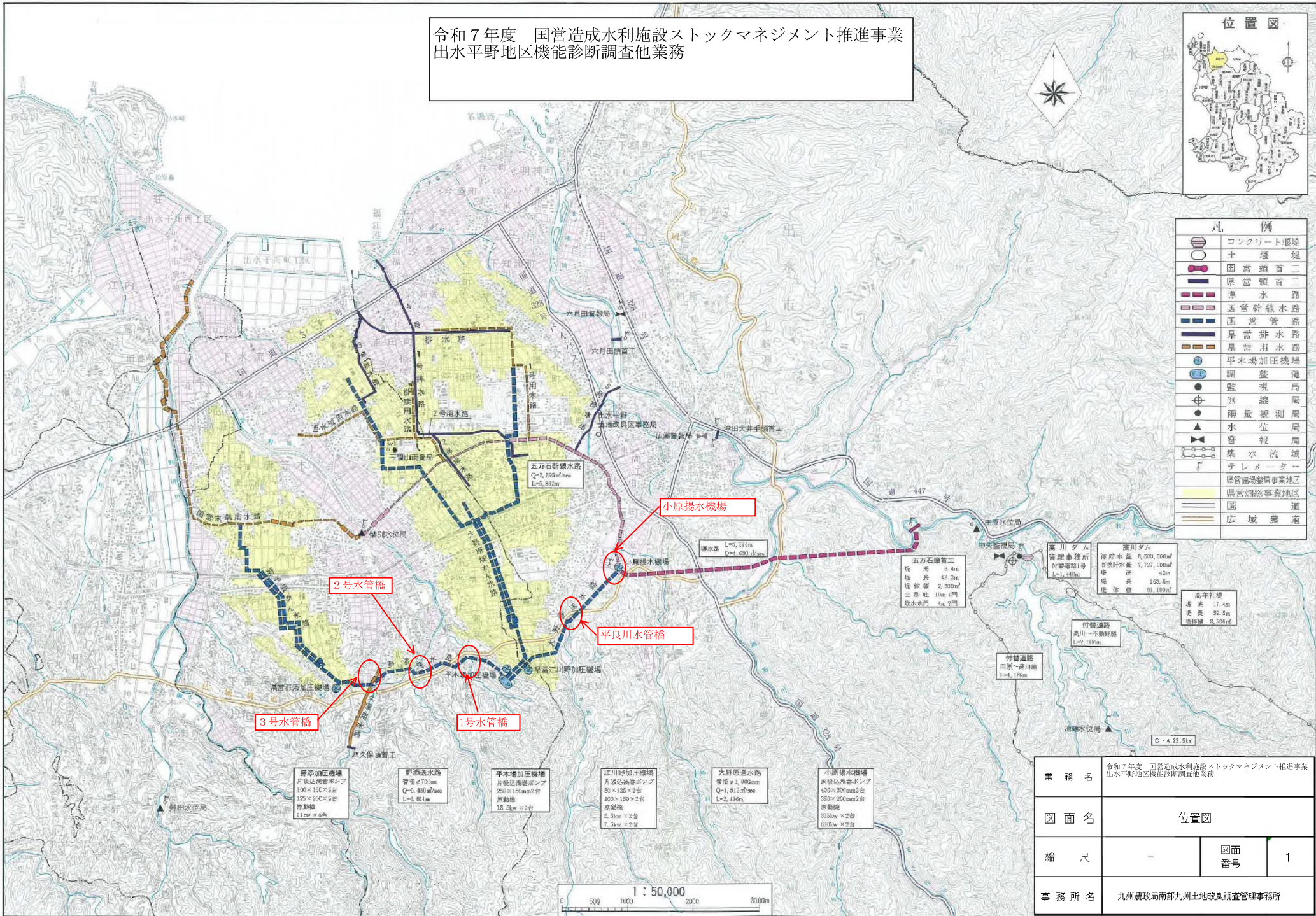
番号	図面名称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	地質調査位置図	2	
3	野添送水路水管橋図	2	
計		5	

令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区機能診断調査他業務



凡例

	コンクリート環堤
	土堰堤
	国営頭首二
	県営頭首二
	導水路
	国営幹線水路
	国営管路
	県営排水路
	県営用水路
	平水場加圧機場
	調整池
	監視局
	無線観測局
	雨量観測局
	水位局
	警報局
	集水流域
	テレメーター
	県営灌漑事業地区
	県営畑作事業地区
	国道
	広域農道

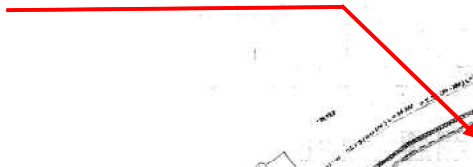


業務名	令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 出水平野地区機能診断調査他業務		
図面名	位置図		
縮尺	-	図面番号	1
事務所名	九州農政局南部九州土地改良調査管理事務所		



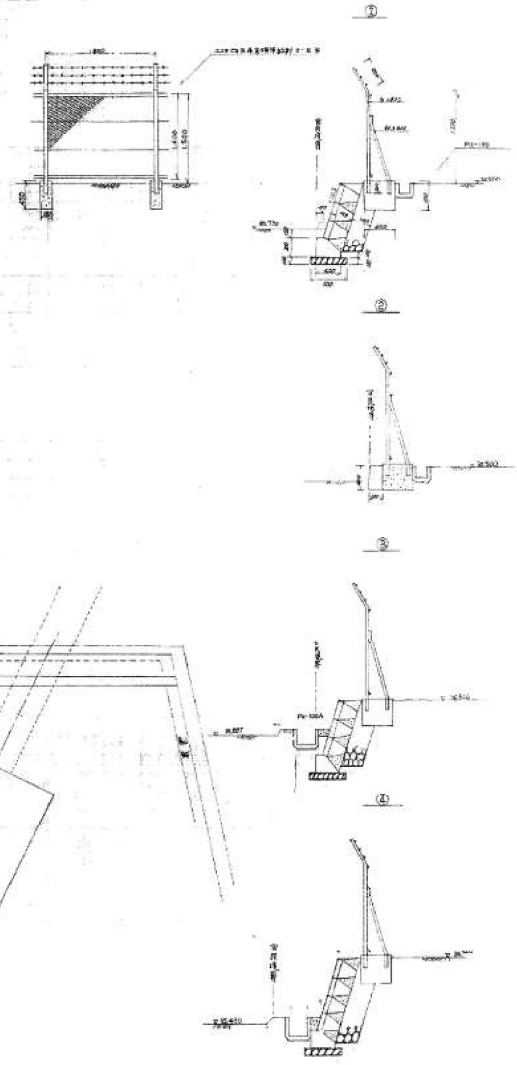
「この地図は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平19九産 第365号)」

ボーリング位置



令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区機能診断調査他業務

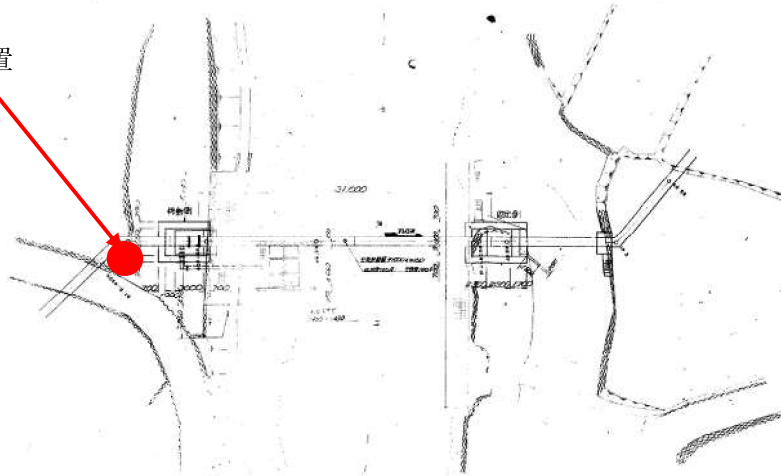
図面の名称	
地質調査位置図	
図面番号	2-1/2



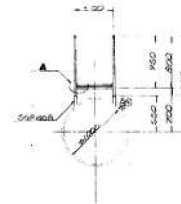
図面の名称	地質調査位置図
図面番号	2-1/2
作成	
校核	
承認	
作成日	
校核日	
承認日	
作成者	
校核者	
承認者	

ボーリング位置

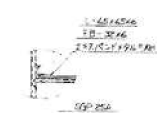
平面図 S=1:200



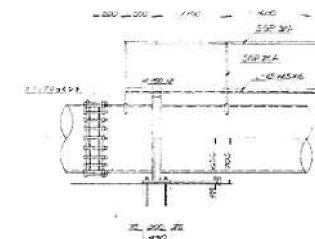
一般断面 S=1/30



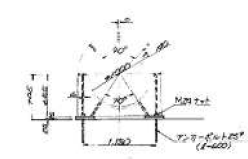
A 詳細図 S=1/30



取付詳細図 S=1/30



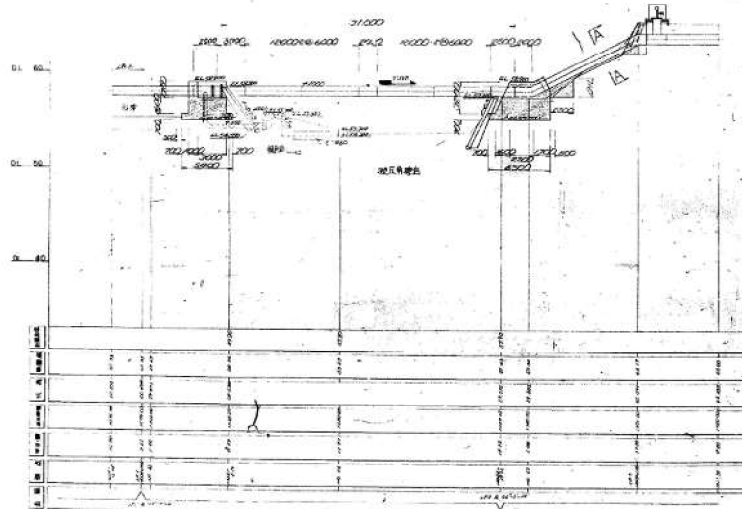
リングゲーター詳細図 S=1/30



排泥詳細図 S=1/100



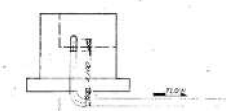
縦断面



A-A断面 S=1/50



側面



平面



令和7年度 国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業  
出水平野地区機能診断調査他業務

図面の名称	
地質調査位置図	
図面番号	2- 2/2



